

## ■国分寺崖線と自然林について

※世田谷トラストまちづくりホームページより

その他、すぐ近くに同じような市民緑地として「成城三丁目崖の林市民緑地」があります。こちらは名前の通り崖の林といった感じで、崖の林の中に通路を作っただけといったシンプルな感じの緑地です。

成城4丁目の方にも「成城四丁目緑地」「成城四丁目十一山市民緑地」、カシオ計算機の故榎尾俊雄氏の「成城四丁目発明の杜市民緑地」や「ビール坂緑地」といった変わった緑地もあります。



## ■国分寺崖線と自然林について

※世田谷トラストまちづくりホームページより

### 《神明の森みつ池特別保護区》

国分寺崖線に位置する「神明の森みつ池特別保護区」は、東京23区内には2カ所しか自生していないゲンジボタルや、絶滅危惧種に指定されている動植物が数多く残る貴重なサンクチュアリです。

樹木が谷間を覆い、4ヶ所ある豊かな湧水が湿地帯をつくる奥深い森は、都会の中の別世界です。保護区内の樹林は、ハンノキやクマシデなどの落葉樹の自然林と、武蔵野の林を代表するクヌギやコナラなどの林とが混じりあっています。

特別保護区に指定されているみつ池では、現在「成城みつ池を育てる会」のボランティアによる保全活動が行われています。その時季に咲いている花の記録、湧水の水温・水量の計測、季節に合わせた草刈りや落葉かきなどの活動がすでに10年以上、行われています。

所在地: 世田谷区成城4-20

開放日: 貴重な動植物が生息しているため、制限つきサンクチュアリとなっています。開放は年数回の観察会実施時に限られています。

面積: 6,056.41平方メートル

### 《成城三丁目なかなだの坂市民緑地》

所有者の方がご家族とともに、ももとの林を活かしながら道をつくり、木を植え守り育ててきた、国分寺崖線に残る貴重な斜面林です。

まちなかでもよく見られるユリノキやクスノキ、メタセコイヤなどの植栽された樹木が一際高くそびえ、雑木林や常緑樹林といった国分寺崖線によく見られる緑地とは少し違った趣があります。その一方で、雑木林で見られるニリンソウや山地性のヤマアイといった、都市ではあまり見られなくなった山野草が自生しています。

この市民緑地は、公開前より地域のみなさんに親しまれる魅力的な緑地を目指して、所有者の方を含めた近隣の方々とともに維持管理を進めています。

所在地: 世田谷区成城3-9-3

面積: 446.73平方メートル

### 《成城四丁目十一山市民緑地》

神明の森みつ池特別保護区に連なる国分寺崖線に位置する斜面林です。緑地内には、世田谷区の保存樹木に指定されているアカマツの大木が複数残され、野川沿いから全景を見ることが出来ます。「十一山(じゅういちやま)」の名称は、かつてこの辺りの崖線部が喜多見村の雑木林で、その稜線がかなり凸凹していて多くの山が連なっているように見えたことから、地元の人たちが俗称としてこの付近をそう呼ぶようになった、ということに由来しています。

現在では、みどりの多い成城の街も都市化が進み、自然環境が減少する傾向にあります。失われつつある“身近なみどり”を少しでも後世に伝え残したい。そんな所有者の強い願いから市民緑地として公開されることになりました。

所在地: 世田谷区成城4-20

面積: 793.63平方メートル

### 《きたみふれあい広場》

小田急線の電車車庫の上にある人工地盤の公園です。地上10メートルの高さにあるため見晴らしが良く、天気が良ければ富士山や丹沢の山々が望めます。すぐそばの野川緑道等ともあわせて整備され、散歩にも最適です。

所在地: 世田谷区喜多見9丁目25番5号

面積: 38,824.83平方メートル

### 《成城三丁目崖の林(はげのはやし)市民緑地》

緑地には中木のニワウルシ、タラノキの中低木ほか、コナラなどの高木が見られます。ほとんどの樹木が落葉樹のため、夏と冬の緑地は見違えるほど様変わりします。陽あたりの良い立地であるため、落葉した冬は陽だまりとなり暖かく、葉が生い茂る夏は涼しく感じます。また、古くは湧き水が豊富であった地域のため、周辺では「上の神明」「中の神明」「下の神明」と水神を祀った名称が残され、遺跡が出土するなどの古い歴史もあり、当時の風景として残したい緑地です。

所在地: 成城3-10

